



登録後の変化や効果などをお聞きしました！

青森県SDGs取組宣言登録制度 登録事業者アンケート結果報告

青森県総合政策部総合政策課
2024年11月22日

CONTENTS
01
はじめに

アンケート概要

実施期間	2024年10月21日～11月18日
対象者	青森県 S D G s 取組宣言登録制度 登録事業者 193者
回収数	104者 (53.9%)
回答方法	オンライン（青森県電子申請・届出システム）
アンケート内容	<ul style="list-style-type: none">登録制度を知ったきっかけ登録した理由ロゴマークの活用状況登録後の変化や効果、その理由登録制度に対する要望自由意見

CONTENTS

02

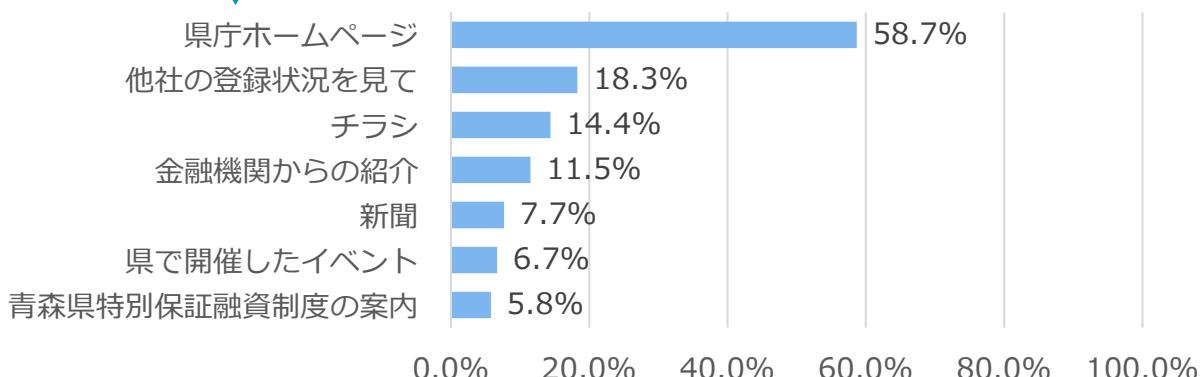
知ったきっかけ、登録理由、ロゴマーク活用

Q1.本制度を知ったきっかけをお答えください。（複数回答可）

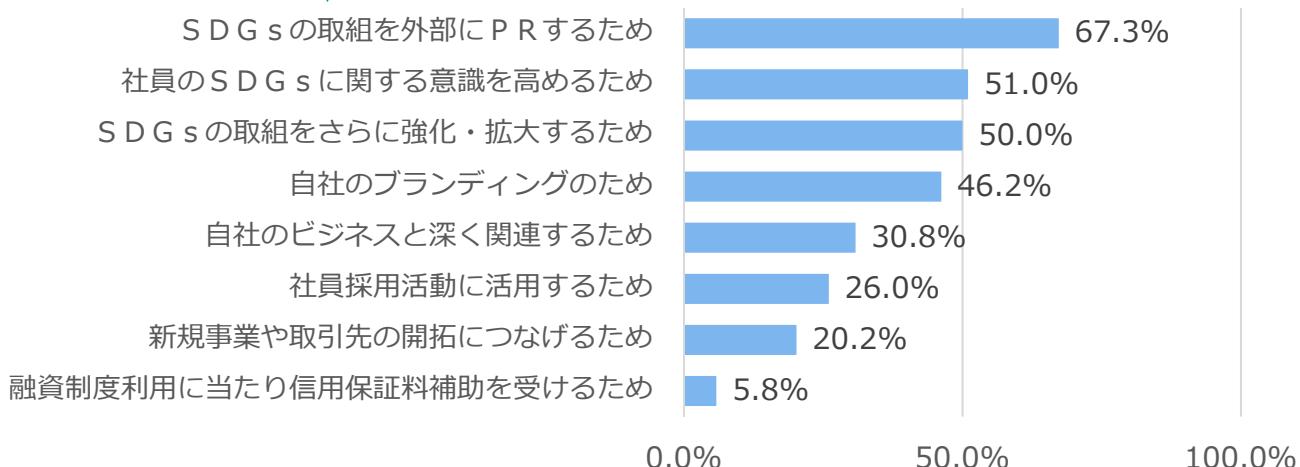
Q2.登録した理由をお答えください。（複数回答可）

Q3.青森県SDGsロゴマークの活用についてお答えください。
(複数回答可)

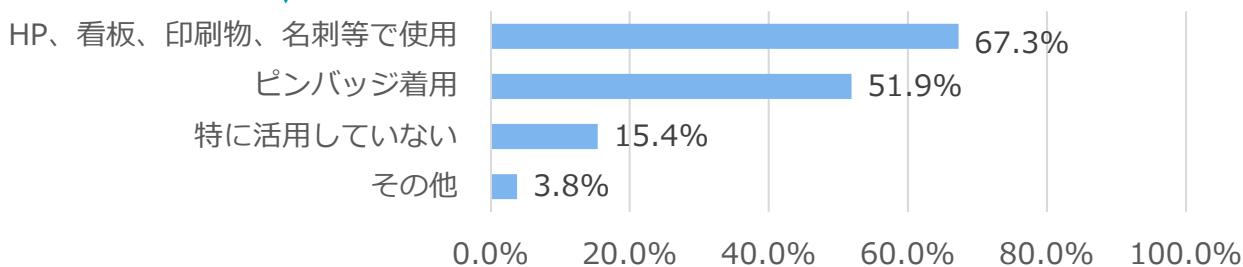
知ったきっかけ



登録した理由



ロゴマーク活用



登録後の変化や効果

Q4.本登録制度への登録後の変化や効果についてお答えください。

変化が効果があった、
どちらかといえばあった

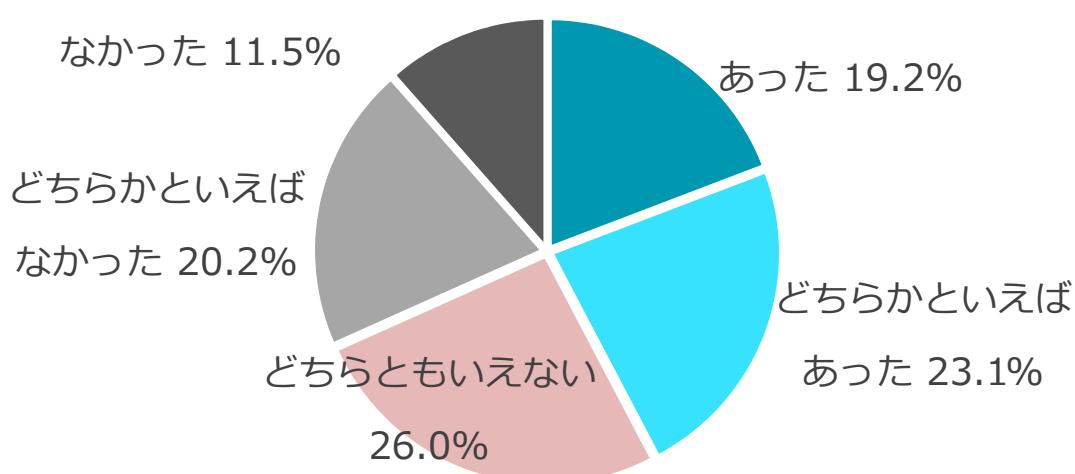
42.3%

どちらともいえない

26.0%

変化が効果がなかった、
どちらかといえばなかった

31.7%



結果

約4割が「変化や効果が（どちらかといえば）あった」と回答している一方、「変化や効果が（どちらかといえば）なかった」との回答も3割ありました。また、「どちらともいえない」との回答が最も多い結果となりました。

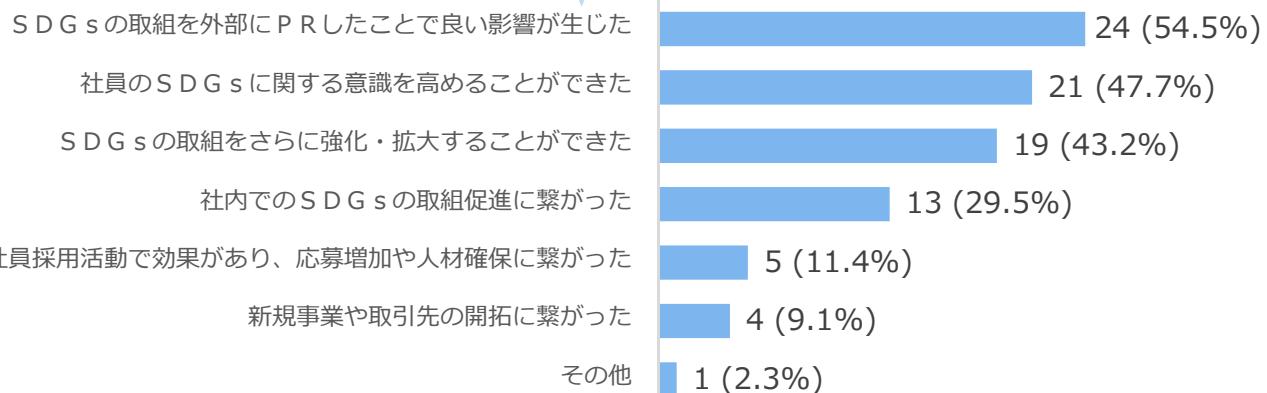
CONTENTS

04

変化や効果が「あった」

- Q5. Q4で「変化や効果があった（どちらかといえばあった）」と答えた方にお聞きします。どのようなことでそう感じたかお答えください。（複数回答可）
- Q6. Q5の回答理由について、具体的な内容（変化や効果）をお答えください。

- ① SDGsの取組を外部にPRしたことに
より、良い影響が生じた
- ② 社員のSDGsに関する意識を高めること
ができた
- ③ SDGsの取組をさらに強化・拡大する
ことができた



変化が効果が感じられた具体例（一部抜粋）

登録したことでのテレビや新聞で取り上げていただき、発信力に繋がり、通常業務の問い合わせだけでなくSDGs事業（出張SDGs講座やワークショップ）の依頼が増加した。

「自治体が推進する制度に登録されている」ことにより、取組に対する信頼性向上に繋がっている。

社内での取組や社員の意識が変わってきたことと県内の自治体の中でSDGsに関するイベントの開催が決定したりといった具体的な成果も得られるようになったこと。

名刺に印刷された青森県SDGsロゴマークについて、得意先から関心を持って頂き、企業ブランディングにつながった。

企業説明会やインターンの際に会社に興味を持つてくれる学生が増えた。

取引企業様より、新たな取組としてSDGs関連の案件を相談いただくことが増えた。

結果

「変化や効果が（どちらかといえば）あった」と回答した事業者の半数以上が、外部へのPRによる良い影響を実感していました。

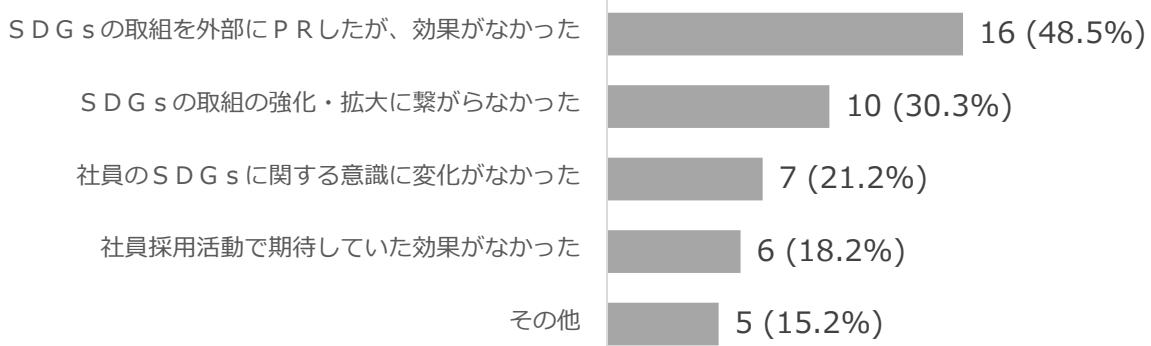
CONTENTS

05

変化や効果が「なかった」

Q7. Q4で「変化や効果がなかった（どちらかといえばなかつた）」と答えた方にお聞きします。どのようなことでそう感じたかお答えください。（複数回答可）

- ① SDGsの取組を外部にPRしたが、期待していた効果がなかった
- ② SDGsの取組の強化・拡大につながらなかった
- ③ 社員のSDGsに関する意識に変化がなかった



「その他」の具体例

SDGs自体の盛り上がりがまだの段階だと思われる。

元々、企業グループ内でSDGsと事業の同軸化に取り組んでいるため、本登録による大きな変化はない。

取引先と特に話題に上がらなかった。

不特定多数へのPRを営業活動の主たる目的としていないため。

SDGsの推進が当たり前と思っているため。

結果

「変化や効果が（どちらかといえば）なかった」と回答した事業者の半数近くが、外部へのPRにより期待していた効果を感じられていませんでした。

CONTENTS

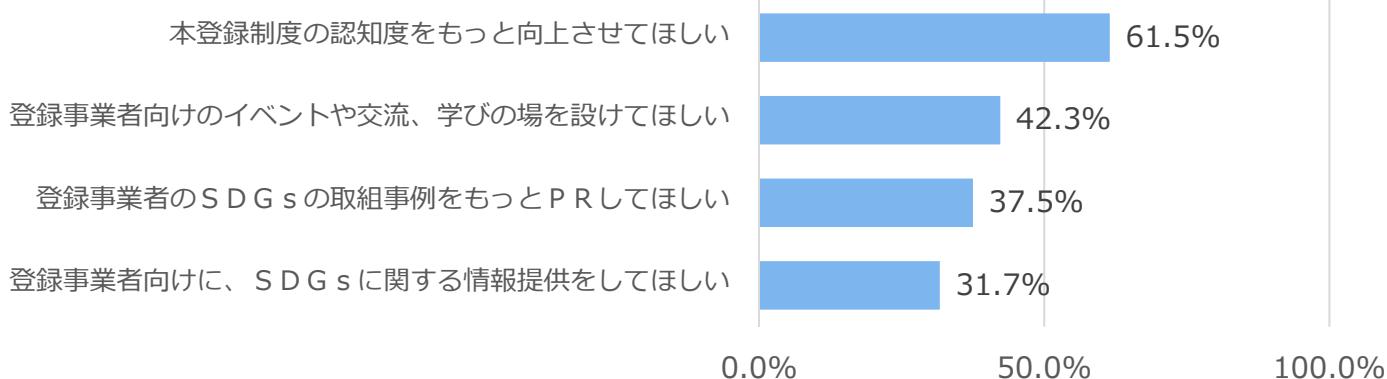
06

登録制度に対する要望・意見

Q8.本登録制度に対する要望をお答えください。（複数回答可）

Q9.その他、本登録制度に対するご意見があればお答えください。

登録制度に対する要望



登録制度に対する意見

肯定的な意見（一部抜粋）

他県に負けずにこのような制度を設けていることを評価したい。

本制度に関しては素晴らしい取組であり、今後も普及啓もうし目的達成のため誰もが努力するべきだと痛感している。

本登録制度によってこれまで取り組んできたSDGs事業の発信力がついただけでなく、団体・企業との連携にも繋がり変化や効果があった。

他者にアピール出来て良い。

改善点や要望・提案（一部抜粋）

せっかくすばらしい取組と分かりやすいロゴがあるのに、まだまだ認知度が低いと思う。メディアを活用しもっと認知度を高めてほしい。

登録事業者が楽しく地域貢献できるような青森独自の取組などのご提案や共有をいただきたい（登録事業者でねぶた祭りへ参加をするなど）。

登録企業どうしの、ゆるい勉強会・情報交換の場を継続的に設けていくのも、県内企業のSDGsへの機運を上げていく一つのやり方と思っている。

SDGs認証、もったいない青森、スマートドライブ、統合してもいいのでは？

結果

登録制度の認知度をもっと向上させてほしいとの要望が6割以上となりました。また、事業者間の交流等に関する要望や提案もありました。

CONTENTS

07

まとめ

01

登録後に変化や効果が「あった」と回答したのは4割

約4割が「変化や効果が（どちらかといえば）あった」と回答している一方、「変化や効果が（どちらかといえば）なかった」という回答も3割ありました。また、「どちらともいえない」という回答が最も多いため結果となりました。

02

「外部へのPRによる良い影響があった」との声が

「変化や効果が（どちらかといえば）あった」と回答した事業者の半数以上が、外部へのPRによる良い影響を実感していました。

03

「期待していた効果がなかった」との声も

「変化や効果が（どちらかといえば）なかった」と回答した事業者の半数近くが、外部へのPRにより期待していた効果を感じられていませんでした。

04

登録制度への要望は「認知度向上」が6割以上

登録制度の認知度をもっと向上させてほしいとの要望が6割以上となりました。また、事業者間の交流等に関する要望や提案もありました。

- ▶ 青森県では、今回の結果を踏まえ、今後の青森県SDGs取組宣言登録制度のより良い運用と、県全体の更なるSDGsの推進に取り組んでいきます。

資料 「変化や効果があった」具体的な内容（p4）

Q. 「変化や効果があった（どちらかといえばあった）」の回答理由について、具体的な内容（変化や効果）をお答えください。

「変化や効果があった」具体的な内容（自由記述）

「自治体が推進する制度に登録されている」ことにより、取組に対する信頼性向上に繋がっている。また、過去の採用面接において、20～30代の応募者から「青森県のSDGsへの取組に登録されていた」との返答があつたことから、応募者への認知度向上にも繋がっていると考えられる。

・各種提案時、ロゴマークを使用できることや、県のSDGs活動に賛同していることを客観的にアピールできることは大きな利点。

・まだまだ社員に浸透していない部分もあるが、少しずつ自覚が出始めているように感じる。特に経営層には浸透してきたと感じており、これからは一般社員への浸透も図っていきたい。

・社員の廃棄物削減への意識が高まり、積極的に3R活動への取組がされてきている。

・各部門がSDGs取組項目を計画へ展開し、具体的に活動できている。

・地域清掃活動へ参加しており、当社は参加率100%を継続している。

・社内で「SDGs取組調査」を実施しており、「節水・節電」「エコドライブ10のすすめ」「紙使用量の削減」「ごみの分別」など、基本的な環境、SDGsへの取組が積極的に行われていることが確認できた。

・また、SDGsの活動が「DX・ICT化の推進/業務効率化に繋がる」といった意見が多く、社員の意識が高まっていることが見受けられた。

・登録したことでのテレビや新聞で取り上げていただき、弊社の発信力に繋がり、通常業務の問い合わせだけでなくSDGs事業(出張SDGs講座やワークショップ)の依頼が増加した。

・工場端材活用についての問い合わせと引き取り手の増加が見られた。(=産廃の量の削減に努めたことが出来た。)

・SDGsに取り組む団体・企業との横の繋がりが形成され、イベントなどでコラボすることが出来た。

・名刺に印刷された青森県SDGsロゴマークについて、得意先から関心を持って頂き、企業ブランディングにつながった。

・自社HPで定期的にSDGsの取組状況を発信するようになった。

1. 「無駄な電気を使用しない（消灯するなど）」「無駄な紙を使用しない（ペーパーレスやデータ化の促進など）」「ガソリン使用量の削減（遠方への移動はハイブリッドカーを使用するなど）」環境への意識が高まった。

2. 環境保全として、作業現場及び会社周辺、河川敷（水辺のサポート協力）などの「ゴミ拾いや草刈りなどの清掃活動」を定期的に行っている。

3. 「地球環境保全配慮型調査・設計の実施」環境保全に係る技術を提案するよう心がけるようになった。

1. プラゴミの削減に対する社員の意識向上、お客様との協力体制強化（リサイクルハンガーリサイクルハンガー回収の促進など）

2. 衣料廃棄量削減へクリーニング利用の提案、クリーニング技術向上への取組強化、社員の意識向上と勉強会参加への活動促進、お客様への技術的なPR強化

3. 女性活躍推進に向けた女性が働きやすい環境づくりへの取組促進、社員の意識向上、男性社員の育児休業初取得

など、社内共有による意識向上と、取組への理解と協力、お客様に共感頂ける自社の強みにもつながっている。

SDGsに関して興味関心をもつていただけた方が増えた。

SDGsに取り組む企業との繋がりができ、イベント参加など新たな活動が増えた。社内では、端材を活用することで廃棄物削減に繋がった。環境に配慮した車両も購入した。

エコキヤップ活動、アイシティECOプロジェクト活動などSDGsの取組に関して関心をもつきっかけとなり、小さな取組からとはなりますが活動を開始しております。

エネルギー使用量やCO₂削減に対する関心が高まり、エネルギー使用量の削減につながってきている。

「変化や効果があった」具体的な内容（自由記述）

お客様からSDGsの取組を評価していただいた。

デマンド交通導入に向けた取組の推進を強化した。

テレビ局の取材があり、SDGsをアピールしながら就労継続支援事業の内容を町に伝えられた。

ホームページや印刷物に掲載することによって、環境への取組を積極的に行っている企業であることが徐々に認知され、お客様や取引先様から評価をいただいていると感じる。

会社のイメージをよりSDGsを絡めてよりクリーンに伝えられるようになりました。

企業説明会やインターンの際に会社に興味を持つてくれる学生が増えた。

求人の際の応募者増加に繋がり、人材の確保ができた。理事会等での理事や関連企業からの声で組合のイメージアップとなつたことを感じた。

県のSDGsフォーラムへ参加させていただき、SDGs取組企業と繋がることができた。

公共工事現場及び事務所等で、廃棄物処分の分別・整理整頓に意欲的に活動するようになった。

- ・市の駐輪場指定管理時期公募の際にSDGs取組事業であることと取組内容を公募資料に入れた。
- ・地域貢献として評価された。
- ・社員の意識向上があった。外出先にバッチをつけて訪問している。誇りをもって取り組むようになった。
- ・県庁から関連企業へのお知らせメールが届くようになった。まだ参加はしていないが情報をもらえるので助かっている。

高校生から授業の一環として一緒に活動したいと依頼があった。

今後未来において自社の商品についても、また弊社の考えも統一しながら今後の計画も見直しながら進めていきたいと考えます。

昨今、SDGsに取り組む大手企業も多く、どのような取組が問われる場面から、名刺に記載することで話が広まることが多かった。

子ども達にSDGsの大切さを伝える職員の意識が高まった。

自社がSDGsにどのように取り組んでいるか従業員に理解され、今後またどのように進んでいくか社内で考える機会が増えたこと。

社員の意識が高くなってきた。

社員の意識向上に繋がった。外部の方から賛同があった。

社員全体で物を大事にするようになった。廃材などの分別がきっちりできてきた。SDGsを通じて社会に貢献しようという気持ちが出てきた感じがする。

社会貢献の一環として、水辺のサポートの草刈りなどを継続して実施しておりますが、地域の住民が安心して歩道を歩けるようになつたり、景観などもよくなることから、魅力あふれるふるさとづくりに貢献できたのではないかと考えます。

社内での取組や社員の意識が変わってきたことと県内の自治体の中でSDGsに関するイベントの開催が決定したりといった具体的な成果も得られるようになったこと。

取引企業様より、新たな取組としてSDGs関連の案件を相談いただくことが増えた。

申請内容などを社員と共有。エアコン・暖房の設定温度、コピー用紙削減など各自が気を付けて取り組んでいる。

「変化や効果があった」具体的な内容（自由記述）

他登録者からSNSにてコンタクトがあり、ワークショップの依頼があった。また、イベントの際にはこちら側からお声掛けしてご参加頂いたりと、活動の幅が広がった。

登録制度の宣言内容により社内におけるSDGsに関する取組を明確化することで、社員一人一人の取組がSDGsにつながっていることを具体的に認識でき、社員の意識を高めることができました。また、自組織（センタ）の取組を社内（他センタ）に共有展開して全社的な意識向上にもつながっております。

SDGsを推進するため、組合員企業への情報発信や普及啓発の取組を通じてSDGsに対する理解促進を図ってきた結果、年々組合員企業のSDGs活動が広まっていると思います。

分かりやすいロゴを掲示しているため、来客者からこんな取組もしているんですね、と興味を持っていただき、環境にも配慮している企業だと認知していただいた。また、社員からも企業としての取組に肯定的な意見が多く聞かれた。

弊社ホームページでアピールしており、良い影響に繋がっている。

役職者全員へのピンバッヂ着用を促したことにより、事業が環境を通じて社会と密接につながっている事の認識が深まった事により、自社林への植林活動に参加する従業員が増えた。

資料 登録制度に対する意見（p6）

Q. その他、本登録制度に対するご意見があればお答えください。

登録制度に対する意見（自由記述）

- ・他県に負けずにこのような制度を設けていることを評価したい。欲を言えば、もっと浸透を図ってほしい。ただし、それは県だけの問題だけではなく、当然我々一人一人の問題もある。
- ・当県は農業県であるので、どんどんSDGsとリンクさせた政策を実施してもらいたい。
- ・色々大変だと思うが、頑張ってください。

SDGsの言葉は知っていても、一般市民の内容までの認知度がイマイチ不足していると思います。イベントや交流、情報交換、学びの場を設けるのは登録事業者向けではなく、一般市民向けに必要と考えます。少なくとも登録事業者はSDGsの意識や必要性を理解している人たちで、使い捨て業界やそれを購入する人々への啓もう活動を強めていく必要があると思います。その為のイベントや一般市民との交流、学校への出前学習等の取組を、するべきではないでしょうか。

交流・情報交換・学びの場をもしご開催頂けるなら、八戸市でも実施をお願いしたいです。青森市で開催されたとしても、距離が遠く、交通費や時間の問題から参加は難しいかと思います。もし青森市のみで開催の場合は、オンラインでしたら場合によっては参加できます。

SDGsを広げるには賛同できます、ただ、登録制度者を増やすことが目的を中心に置くことは少し疑問に感じます。私はこの事業はSDGsという目標に向かって会社や人や町や社会などを創り育していく一つの手段であると考えています。多分この事業に登録していくなくとも多かれ少なかれ、皆SDGsぽいことを考え行っていると思います。そういう「プチSDGs」や「お試しSDGs」などを大切にして広めることで、身近の生活にSDGsを感じることができるのではないかと考えています。事業を進める方々は大変だと思いますが頑張って下さい。

SDGs認証、もったいない青森、スマートドライブ、統合してもいいのでは？

せっかくすばらしい取組と分かりやすいロゴがあるので、まだまだ認知度が低いと思う。メディアを活用しもっと認知度を高めてほしい。

もっと認知されるように期待しております。

引き続き活動していきます。

最近制度の方に登録させていただきましたが、これからPR等に活用させていただく予定です。多くの事業所様が本取組に賛同し、SDGs活動が広がっていくよう、弊社も尽力していく所存です。

青森県内では、企業のSDGsへの意識はまだ低いところが多い印象があります。現場感としては、表向き「取り組んでいる」といっても、経営者が本当に強く意識している企業はまだ少ない気がしています。登録企業どうしの、ゆるい勉強会・情報交換の場を継続的に設けていくのも、機運を上げていく一つのやり方と思っております。

他の自治体ともSDGsの理解を深め具体的なアクションにつなげていきたい。

他者にアピール出来て良い。

登録事業者が楽しく地域貢献できるような、青森独自の取組などのご提案や共有をいただきたいです。（登録事業者でねぶた祭りへ参加をするなど）

弊社はまだ登録したばかりです。登録後の変化や効果は、これからのことだと思います。

本制度に関しては素晴らしい取組であり、今後も普及啓もうし目的達成のため誰もが努力するべきだと痛感しております。しかし、会社として率先して取り組むべきだと思うのですが、会社自体の経営が第一であり、中々貢献できず申し訳ございません。

登録制度に対する意見（自由記述）

弊社展示場にSDGs登録証を展示しています。見学されたお客様には「弊社はSDGsに取り組んでいます」と説明しますが、関心を持たれるお客様は少なく感じます。また、「登録すれば誰でもすぐとれるのでしょうか」と言う声もあります。

地元工務店で、環境にも優しく自然エネルギーを大いに活用した災害に強いレジリエンス住宅は、まだ皆様に浸透していません。本気で、青森でもここまでできる家を大いに広めたいと、ことあるごとにSDGsをアピールしていますが、もっとSDGs登録事業者のためのアピールの場が欲しいと思います。SDGs取組宣言に登録できた方の名前や活動内容が少しでも市民に広まる仕組みがあれば、みんなが色々なSDGsを考えるのではないかでしょうか。

本登録制度によってこれまで取り組んできたSDGs事業の発信力がついただけでなく、団体・企業との連携にも繋がり変化や効果がありました。SDGsに関するモチベーションも継続しているのも本登録制度のおかげだと思います。ありがとうございます。